



羽田空港

WEATHER TOPICS



定期号

通巻 第 31 号

2013 年（平成 25 年）

8 月 30 日

発行

東京航空地方気象台

特別警報が始まりました

気象庁では、平成 25 年 8 月 30 日（金）0 時から「特別警報」の運用が始まりました。「特別警報」は、「東日本大震災」や「伊勢湾台風」といった、誰もが一度は聞いたことがあるような大災害が起こるおそれがある時に、住民の皆さんに最大限の警戒を呼びかけることを目的に創設された防災気象情報です。

「特別警報」は航空気象情報ではありませんが、地元気象台から発表され自治体や報道機関を通じて伝えられます。

1. 今までの警報と何が違うの

「警報」発表基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起こると予想される場合に運用されます。また市町村による地域住民への周知活動が新たに義務化されました。

2. 「特別警報」の種類と発表基準

特別警報は、警報の発表基準をはるかに超える現象に対して発表します。

大雨、津波、火山、地震（地震動）など各現象に対する特別警報の発表基準は次のとおりです。

気象等に関する特別警報の発表基準

現象	特別警報の基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合※	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合※
高潮		高潮になると予想される場合※
波浪		高波になると予想される場合※
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合※	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合※	

※ 発表にあたっては、降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標を設け、これらの実況および予想に基づいて判断をします。

特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。特別警報の運用開始以降も、警報や注意報は、これまでどおり発表されます。大雨等においては、時間を追って段階的に発表される気象情報、注意報、警報を活用して、早め早めの行動をとることが大切です。

津波、火山噴火、地震については、現行の警報のうち、危険度が非常に高いレベルのものを特別警報に位置づけます。

具体的には、津波については「大津波警報」、火山噴火については「噴火警報（居住地域）」、

地震については「緊急地震速報」（震度6弱以上を予想したもの）を特別警報に位置づけます（次表を参照）。

これらの特別警報は、名称に特別警報は用いず、従来どおりの名称で発表します。例えば、大津波警報が発表された時は、それが津波に関する特別警報が発表されたという意味です。

津波・火山・地震（地震動）に関する特別警報の発表基準

現象	特別警報の基準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 （大津波警報を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 （噴火警報（居住地域）*を特別警報に位置づける）
地震 （地震動）	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 （緊急地震速報（震度6弱以上）を特別警報に位置づける）

* 噴火警戒レベルを運用している火山では「噴火警報（居住地域）」（噴火警戒レベル4または5）を、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報（居住地域）」（キーワード：居住地域嚴重警戒）を特別警報に位置づけます。

3. 「特別警報」が発表された場合の東京航空地方気象台の対応

- （1）東京航空地方気象台では、予報対象空港（新潟空港・富山空港・静岡空港・小松、百里飛行場）が存在する予報区に気象特別警報が発表された場合、その内容を参考にこれまでどおり各種資料により現象の予測・監視を行い、飛行場警報等の適切な発表に努めます。
- （2）気象特別警報が発表された府県における航空気象官署（大島空港・松本空港・新潟空港・富山空港・能登空港・静岡空港）では、今までの注意報・警報と同様に、常に気象特別警報の内容を把握し、必要に応じて東京航空地方気象台と情報を共有し、気象特別警報の内容に関し適宜カスタマーヘブリーフィングを行います。

気象特別警報については、航空気象情報提供システム（MetAir）の「一般気象情報」の「府県気象警報」で確認できます。また、気象庁ホームページでもご覧いただけますので、最新の情報を入手し事前の対策等に利用してください。

特別警報の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/index.html>

（東京航空地方気象台予報課）

「特別警報」が発表されたら身を守るために最善を尽くしてください。

- ・経験したことのないような異常な現象が起きそうな状況です。ただちに命を守る行動をとってください。
- ・この数十年間災害の経験が無い地域でも、災害の可能性が高まっています。油断しないでください。

発行 東京航空地方気象台
〒144-0041
東京都大田区
羽田空港 3-3-1

航空気象観測月表

官署名 東京航空地方気象台

地点略号 RJTT

2013 年 07 月

日/要素	平均気圧		気温			相対湿度		最大風速		最大瞬間風速		降水量			降雪の 深さの 合計 cm	積雪の 深さ 09h cm	大気現象
	飛行場 現地 ×0.1hPa	海面 ×0.1hPa	平均 ×0.1℃	最高 ×0.1℃	最低 ×0.1℃	平均 %	最小 %	風向 36 方位	風速 kt	風向 36 方位	風速 kt	合計 ×0.1mm	最大 1時間 ×0.1mm	最大 10分間 ×0.1mm			
1	10147	10157	229	253	203	76	63	190	15	200	20	-	-	-			
2	10136	10147	234	270	202	70	51	190	15	180	22	-	-	-			
3	10082	10093	235	265	217	75	62	190	25	180	34	0	0	0			☁
4	10047	10057	242	268	227	86	74	180	22	180	29	5	5	5			☁
5	10038	10049	255	276	238	86	77	220	29	220	39	115	65	25			☁=
6	10069	10080	277	322	247	76	60	170	30	200	39	-	-	-			
7	10102	10113	278	335	240	77	56	210	20	190	26	0	0	0			☁
8	10116	10126	278	347	235	80	50	70	14	80	16	30	30	30			☁R=
9	10084	10094	283	336	253	76	54	180	16	180	21	-	-	-			=
10	10058	10068	283	336	253	74	54	180	17	170	22	-	-	-			
11	10062	10072	285	320	257	75	59	180	16	170	23	-	-	-			=
12	10070	10081	285	341	250	76	54	180	17	180	26	-	-	-			
13	10091	10101	287	329	262	76	52	110	10	130	12	0	0	0			☁
14	10098	10109	287	323	263	75	62	140	17	140	20	0	0	0			☁=
15	10083	10094	280	352	225	70	35	350	21	350	27	0	0	0			☁=
16	10134	10145	246	287	216	70	57	60	16	60	17	-	-	-			
17	10119	10129	246	295	218	76	54	190	20	190	26	15	15	5			●☁
18	10034	10044	272	318	234	76	58	190	22	200	31	5	5	5			☁R
19	10079	10089	247	292	211	73	54	90	17	90	20	0	0	0			☁
20	10114	10125	233	274	209	71	59	80	14	80	17	-	-	-			
21	10108	10118	238	285	208	68	54	170	13	160	17	-	-	-			
22	10084	10094	258	294	228	79	65	170	18	160	24	0	0	0			☁
23	10054	10065	268	329	245	83	55	120	18	110	23	175	130	40			☁R=
24	10045	10056	250	268	239	87	78	130	12	180	18	20	10	5			☁●=
25	10034	10044	262	291	239	81	68	70	11	230	18	0	0	0			●●=
26	10033	10044	279	326	252	78	60	190	18	170	23	-	-	-			
27	10033	10044	273	322	226	79	61	340	27	350	35	75	70	40			☁R=
28	10052	10063	267	312	232	72	52	180	13	180	17	0	0	0			☁
29	10024	10035	258	275	237	83	71	170	16	160	22	120	65	45			☁R=
30	9999	10010	269	300	243	81	67	160	10	190	16	5	5	5			☁=
31	10027	10038	267	295	248	80	69	170	14	160	20	-	-	-			=∞

上旬	10088	10098	259	301	232	78						150					
中旬	10088	10099	267	313	235	74						20					
下旬	10045	10056	263	300	236	79						395					
月	10073	10083	263	304	234	77						565					
極値				352	202		35	170	30	200	39	175	130	45			
起日				15	2		15		6		6	23	23	29			

気温 日数 °C							最大風速階級別日数 kt				日降水量階級別日数 mm								降雪の深さの日合計階級別日数 cm					
日最低 <0.0	日平均 <0.0	日最高 <0.0	日最低 >=25.0	日平均 >=25.0	日最高 >=25.0	日最高 >=30.0	>=20	>=30	>=40	>=50	>=0.0	>=1.0	>=5.0	>=10.0	>=30.0	>=50.0	>=70.0	>=100.0	>=0	>=5	>=10	>=20	>=50	>=100
0	0	0	7	22	31	16	9	1	0	0	19	7	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

日最深積雪階級別 日数 cm							視程継続時間 分			RVR継続時間 分						最低雲高継続時間 分						大気現象出現日数		
>=0	>=5	>=10	>=20	>=50	>=100	>=200	m <5000	m <3200	m <1600	m <1600	m <800	m <600	m <400	m <200	m <100	ft <1500	ft <1000	ft <500	ft <300	ft <200	ft <100	雷	霧	雪
0	0	0	0	0	0	0	840	117	23	40	0	0	0	0	0	2168	595	11	0	0	0	5	0	0

特記事項	07月17日0210～0220JST 08AMOSバージョンアップに伴い一部データ欠測